

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bei&bpi(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新第1学校給食共同調理場	階数	地上2F
建設地	大阪府枚方市出屋敷西町2丁目87	構造	S造
用途地域	指定なし、法22条地域内	平均居住人員	140人
気候区分	地域区分VI	年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2014年10月28日
敷地面積	7,493 m ²	作成者	(株)板垣建築事務所 新井律子
建築面積	4,205 m ²	確認日	2014年10月28日
延床面積	4,568 m ²	確認者	(株)板垣建築事務所 新井律子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆☆ 100%☆☆☆☆☆ 100%超:☆☆

■建設 ■修繕・更新・解体 ■運用 ■オンサイト ■オフサイト

①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 枚方市環境方針の基本理念及び基本方針に基づき、環境負荷の継続的な低減・環境の保全と創造・環境汚染の予防に努めます。		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 できる限り自然採光・換気ができる開口を設け執務環境の向上に努めた。建材は、告示対象外建材及びF☆☆☆☆☆建材をほぼ全面に採用することにより、室内から発生する汚染物質を最小限に抑え、また換気量も建築基準法を十分満	Q2 サービス性能 バリアフリー法・大阪府福祉のまちづくり条例の基準を満たしている。重要度係数を1.25に設定するなど耐震性も考慮している。十分な階高設定と地下配管ピットを設けることで、設備配管等の更新を考慮した設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) 「枚方市景観計画」に基づく「景観アドバイザー会議」における、助言を基に、建物の色彩計画及び緑化計画等を行った。緑化面積は、「大阪府自然環境保全条例」の必要面積に加えて、「枚方市緑の基本計画」を満たすものとし
LR1 エネルギー LED照明の採用することで環境負荷の低減を目指している。	LR2 資源・マテリアル 再生骨材の使用等、非再生資源の使用量削減に努めている。発泡剤(断熱材)に関するノンフロン製品の採用をするなどGWPの軽減に努めている。	LR3 敷地外環境 雨水流出抑制対策として、地下ピットに雨水貯留施設を設けた。発生する生ごみへの対策として「厨芥処理設備」を設置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)新第1学校給食共同調理場	
		建設地	大阪府枚方市出屋敷西町2丁目877番9の一部	
		用途/区分	工場	
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
エネルギー消費量の報告				報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体	3
			住戸・宿泊	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり	③ みどり・ヒートアイランド対策			
ヒートアイランド対策				
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				